

本書は、英語によるCrédit Agricole SA 2019年度第1四半期報告書の抄訳であり、英語による原文がすべての点においてこの日本語の抄訳に優先します。疑義がある場合には英語の原文に従い解釈をお願いいたします。

2019年5月15日 モンローージュ

2019年度第1四半期業績結果 全ての事業部門で好業績

クレディ・アグリコル S.A.

- 基礎¹純利益²: 7億9,600万ユーロ、前年同期比+1.0%、(コーポレート・センターを除く)全ての事業部門で+8.2%
- 表示純利益²: 7億6,300万ユーロ、前年同期比-10.9%、表示収益: 48億5,500万ユーロ、前年同期比-1.1%
- 基礎¹EPS: 0.23ユーロ(前年同期比-0.9%)
- 基礎¹収益: 前年同期比+0.1%、全ての事業部門で+1.0%: CIBの事業活動レベルの持続(+3.3%)とフランスのリテール・バンキング部門(+1.3%)
- 基礎費用¹の抑制確認: SRF³を除いて安定、各事業部門の高い営業効率を実証、SRF³を除いて当四半期にのみ影響するIFRIC第21号の他の変動のマイナス影響を含めた基礎コスト比率は安定(63.3%)
- SRF³の急増: 前年同期比+13.9%の3億3,200万ユーロ、SRFを除いた基礎¹純利益: 前年同期比+3.5%
- リスク関連費用の大幅減: 前年同期比-28.4%、依然として低水準: 当四半期は前年同期比-7 ベーシス・ポイントの21 ベーシス・ポイント⁴
- CET1 レシオ: 目標の11%を引き続き上回る 11.5%

クレディ・アグリコル・グループ*

- 表示純利益²: 13億5,000万ユーロ、前年同期比-5.5%、表示収益: 81億9,600万ユーロ、前年同期比-0.7%
- 基礎¹純利益²: 14億3,500万ユーロ、前年同期比+6.1%、(コーポレート・センターを除く)全ての事業部門で+9.9%
- 基礎費用²の厳格な抑制(SRF³を除く): 前年同期比-1.1%、2ポイントのプラスの乖離効果
- SRF³の増加: 前年同期比+17.4%の4億2,200万ユーロ、SRF³を除いた基礎¹純利益²: 前年同期比+8.1%
- 地域銀行(IFRS): 手数料の増加と証券ポートフォリオのプラスの評価見直し、SRF³を除いた基礎費用の安定、及びリスク関連費用の急減を理由とした基礎¹収益の増加

* クレディ・アグリコル S.A.と地域銀行の100%。

本プレスリリースでは、クレディ・アグリコル S.A.及びクレディ・アグリコル S.A.の子会社とクレディ・アグリコル地域銀行(クレディ・アグリコル S.A.の56.3%を所有しています)で構成されるクレディ・アグリコル・グループの業績についてコメントします。特殊要因の詳細(これは、基礎的実績を計算するためにさまざまな指標で修正再表示されます)については、本プレスリリースの13ページ(クレディ・アグリコル S.A.)及び14ページ(クレディ・アグリコル・グループ)を参照ください。公表された損益計算書と基礎的損益計算書との調整は、クレディ・アグリコル S.A.については15ページ以降、クレディ・アグリコル・グループについては17ページ以降に記載されています。

クレディ・アグリコル S.A.

全ての事業部門で好業績

¹ 本プレスリリースにおいて、「基礎」とは、13ページ以降に記載される特殊要因について調整された中間残高をいう。

² 純利益グループ帰属分。

³ 単一破綻処理基金(SRF)への拠出金。

⁴ ローリング4四半期を対象とした平均貸倒引当金。当四半期以降、信用リスク指標に含まれるローン残高は、減損前の顧客向けローンのみである。

- 基礎純利益の増加(前年同期比 1.0%増)、コーポレート・センター⁵を除く全ての事業部門で 8.2%増
- 好ましい市場環境と CIB での収益性の高い成長:リスク・ウェイト資産(RWA)は 3 月/12 月で 2.5%増、ファイナンス事業部門の収益/RWA 比率:前年同期比 5 ベーシス・ポイント増
- フランスのリテール・バンキング部門の好業績:基礎純利益は 17.7%増、4.5 ポイントのプラスの乖離効果、リスク関連費用の低下:12.4%減
- SRF 拠出金の増加:10.5%増/-3,000 万ユーロから純利益の 3 億 800 万ユーロ減

ビジネスパフォーマンスとクロスセリングの持続的改善

- ユーロ建て保険をけん引役とした生命保険部門への高い水準の資金流入額(純額)、保険料収入の大幅成長の持続と損害保険のエクイップメント・レート上昇
- 全てのリテール・バンキング・ネットワークでのローン残高の伸び
- 専門金融サービス部門(特に自動車ローン提携事業と消費者金融)でのオリジネーション業務の増加

適切な費用抑制

- SRF を除いた費用の安定:前年同期比 0.1%増、SRF を除いたコスト比率は 63.3%で安定

依然として非常に低い水準のリスク関連費用

- 前年同期比 28.4%減、残高に対するリスク関連費用は 21 ベーシス・ポイント(前年同期比 7 ベーシス・ポイント減)
- NPL レシオの改善:3.3%(3 月/3 月で 0.9 ポイント減)及び不良債権引当率:73.6%(1.2 ポイント増)

確認された財務力: CET1 は 3 月/12 月で安定

- CET1 レシオ:目標の 11%を現在も十分に上回る 11.5%
- 特に当四半期は好ましい市況の恩恵を受けた CIB でリスク・ウェイト資産が前年同期比で増加(4.5%増)

2019 年度第 1 四半期の財務諸表を検証するため、ドミニク・ルフェーブルを議長とするクレディ・アグリコル S.A.の取締役会が 2019 年 5 月 14 日に開かれました。

2019 年度第 1 四半期の表示純利益は、前年同期(8 億 5,600 万ユーロ)と比べて 10.9%減の **7 億 6,300 万ユーロ**でした。この低下の主な要因は、比較対象の両期間の**特殊要因**⁶です。

2019 年度第 1 四半期は、いくつかの特殊要因が純利益に **3,300 万ユーロ(純額)のマイナス影響**を及ぼしました。これに含まれるのは、当四半期の変動の大きい会計項目(すなわち、純利益にマイナス影響を及ぼした 1,300 万ユーロの住宅購入貯蓄プラン引当金(税引前及び非支配持分控除前で 2,100 万ユーロ)、-600 万ユーロの DVA(債務評価調整)、及び貸付ポートフォリオの引当(-1,400 万ユーロ)の変動)に限定されます。**2018 年度第 1 四半期**は、特殊要因が純利益に **6,800 万ユーロのプラス影響**を及ぼしました。これは主に、イタリアの 3 行買収時に計上された負のれんの調整(+6,600 万ユーロ(税引前及び非支配持分控除前で+8,600 万ユーロ))、パイオニアの統合費用(400

⁵ コーポレート・センター。

⁶ クレディ・アグリコル S.A.に関連する特殊要因の詳細は 13 ページ、表示利益と基礎的利益の調整については 15 ページを参照。

万ユーロ(900万ユーロの営業費用)、及び変動の大きい経常的な会計項目(+600万ユーロ)でした。

これらの特殊要因を除いた当四半期の**基礎純利益は、前年同期比 1.0%増の 7 億 9,600 万ユーロ**でした。これは、以下のような多様な効果をもたらしました。

- **各事業部門による好業績**: 純利益に対する寄与分(コーポレート・センターを除く)は、前年同期比 8.2%増でした。
- **コーポレート・センターが計上した 1 回限りの低下**: 基礎純利益に対する寄与分はマイナスとなり、2018 年度第 1 四半期の-2 億 1,300 万ユーロに対して-2 億 8,700 万ユーロ(7,400 万ユーロ減)でした。これは、特殊要因に分類されない変動の大きい会計項目に帰せられます。

基礎収益と SRF を除いた費用は、両四半期とも安定的でした(それぞれ 0.1%増)。 **営業総利益の低下(2.7%減/4,100 万ユーロ減)**は、**単一破綻処理基金への拠出金急増(前年同期比 13.9%増)**に全面的に帰せられます。この低下は、**信用リスク関連費用の持続的低下(前年同期比 28.4%減/8,900 万ユーロ減の 2 億 2,500 万ユーロまで低下)**では補いきれませんでした。また、21 ベーシス・ポイントというのは、ローン残高に対して依然として低い水準です。したがって、基礎純利益は 1.0%増でした。SRF を除くと、この伸びは 3.5%でした。

表 1: クレディ・アグリコル S.A. — 表示実績と基礎的実績(2019 年度第 1 四半期と 2018 年度第 1 四半期)

En m€	Q1-19 stated	Q1-18 stated	Var Q1/Q1 stated	Q1-19 underlying	Q1-18 underlying	Var Q1/Q1 underlying
Revenues	4,855	4,909	(1.1%)	4,903	4,900	+0.1%
Operating expenses excl.SRF	(3,104)	(3,110)	(0.2%)	(3,104)	(3,100)	+0.1%
SRF	(332)	(291)	+13.9%	(332)	(291)	+13.9%
Gross operating income	1,419	1,508	(5.9%)	1,467	1,508	(2.7%)
Cost of risk	(225)	(314)	(28.4%)	(225)	(314)	(28.4%)
Cost of legal risk	-	-	n.m.	-	-	n.m.
Equity-accounted entities	85	93	(8.1%)	85	93	(8.1%)
Net income on other assets	23	18	+23.8%	23	18	+23.8%
Change in value of goodwill	-	86	(100.0%)	-	-	n.m.
Income before tax	1,302	1,391	(6.4%)	1,350	1,305	+3.4%
Tax	(394)	(362)	+8.9%	(409)	(362)	+12.8%
Net income from discount'd or held-for-sale ope.	(0)	(1)	n.m.	(0)	(1)	n.m.
Net income	908	1,028	(11.7%)	941	942	(0.1%)
Non controlling interests	(145)	(172)	(15.7%)	(146)	(154)	(5.6%)
Net income Group Share	763	856	(10.9%)	796	788	+1.0%
Earnings per share (€)	0.22	0.25	(14.7%)	0.23	0.23	(0.9%)
Cost/Income ratio excl.SRF (%)	63.9%	63.3%	+0.6 pp	63.3%	63.3%	+0.0 pp

2019 年度第 1 四半期の純利益グループ帰属分(7 億 9,600 万ユーロ)は、IFRIC 第 21 号に関連する費用を組み入れています。この費用は、当年度については定額法で計上されないため、純利益に-4 億 300 万ユーロの影響を及ぼしました。このうちの-3 億 800 万ユーロは、SRF 拠出金に関係します。特殊要因として修正再表示されないこの費用は、2018 年度第 1 四半期から当年度第 1 四半期にかけて急増しました(純利益グループ帰属分の 2,700 万ユーロ増/7.2%増)。

インドスエズ・ウェルス・マネジメントの子会社バンカ・レオナルドによる当四半期の寄与分にかかわる唯一の連結範囲の影響は、2018 年度第 2 四半期にはアセット・ギャザリング及び保険事業部門の連結財務諸表に組み入れられていました。純利益に対するこの影響は重大ではありませんでした。

1 株当たりの基礎的利益は、帰属可能純利益(財務諸表では純利益に直接計上されますが、1株当たり利益の計算では控除されるAT1クーポンの控除後、19ページを参照)の変動に従って前年同期比では微減(0.9%減)の0.23ユーロでした。

クレディ・アグリコル S.A.の事業部門とクレディ・アグリコル・グループのリテール・ネットワーク(特に、クレディ・アグリコル S.A.の商品とサービスを販売する地域銀行)は、貸付、顧客貯蓄、個人保険と損害保険の分野で当四半期も非常に高い水準の事業活動を行い、これにより「Strategic Ambition 2020」計画の要である顧客重視型ユニバーサル銀行モデル固有のクロスセリングの展開に参画しました。

- **損害保険部門**は、その事業の中で契約件数が前年同期比 5.3%増の 1,360 万件に達し、顧客エクイップメント・レート⁷は引き続き上昇しています(地域銀行の顧客については前年同期比 1.6 ポイント増の 36.6%、LCL については 1.3 ポイント増の 24.1%)。一方で、当四半期の保険料収入は前年同期比 8.6%増でした。当四半期の**生命保険部門**の資金流入額(純額)も好調で、ユニット・リンク型保険の 12 億ユーロ増を含めて 28 億ユーロ増を記録しました。これらは、当四半期の合計流入額全体の 25%、2019 年 3 月末時点での貯蓄/運用退職資産の 21.8%(前年同期比 0.3 ポイント増)をそれぞれ占めました。当四半期で特に注目されるのは、31%のユニット・リンク型保険を含めて生命保険資金流入総額が 1 億 4,300 万ユーロとなったクレディ・アグリコル・アシュアランスとイタリアの Credit Valtellinese (Creval) の提携事業の幸先よいスタートです。
- **資産運用部門(アムンディ)**は当四半期、中長期資産の流入額(純額)が 84 億ユーロ⁸のプラスとなり、その内訳はリテール部門が 24 億ユーロ、機関投資家セグメントが 60 億ユーロ⁸でした。また、トレジャリー商品の大きな流出額(-90 億ユーロ)もありました。全体では、当四半期の流入額(純額)は-69 億ユーロでしたが、マーケットと外国為替のプラス影響(583 億ユーロ)により概ね相殺され、運用資産額は、2018 年 3 月末時点と比べて 1.7%増、2018 年 12 月末時点と比べて 3.6%増の 1 兆 4,760 億ユーロでした。
- **リテール・バンキング部門**は、小企業及び個人事業主向け貸付(11.8%増)と住宅ローン(8.3%増)がけん引する形で特にフランスの LCL(2018 年 3 月末時点と比べて 9.1%増)での貸付の大幅増により、引き続き成長が拡大しています。これは、市場(-7.9%⁹)を大幅に上回る住宅ローンの急増(2018 年度第 1 四半期から当年度第 1 四半期までで住宅ローン件数は 18%増、オリジネーション業務は 14%増)を記録したクレディ・アグリコル・イタリア(2018 年の非正常先貸出債権の売却を除いて 1.8%増)にも当てはまります。顧客貯蓄に関しては、オン・バランスシート預金(特に 11.6%増の要求払預金)がけん引して LCL が前年同期比でプラス成長となった一方、CA イタリアに関しては、変動が大きくコスト高のリソースを削減するために 2018 年度第 3 四半期に実施した措置の継続を理由に顧客貯蓄が減少しました(1.8%減。このうちオン・バランスシート預金は 5.5%減)。新規顧客獲得は LCL で堅調を維持し(当四半期は、新規個人客と個人事業主が合わせて 1 万 8,900 人)、エクイップメント・レートは堅調な伸びを維持しています(マルチリスク住宅所有者保険、自動車保険、健康保険が 8.3%増)。他方で、CA イタリアは 2017 年末に取得した銀行 3 行の統合作業を続けており、そのビジネスパフォーマンスは全てのセグメントで改善しています(たとえば、住宅ローン件数は 2018 年度第 1 四半期から当年度第 1 四半期にかけて 2 倍超となりました)。
- **専門金融サービス部門**では、(昨年と今年の 3 月時点の比較で 8.4%増となった)消費者金融部門の堅調なオリジネーション業務がけん引して、専門金融サービス部門の管理信用残高が 2018 年 3 月末時点と比べて 7.1%増となりました。これと共に特に顕著なのは、自動車ローン提携事業(20.5%増)、海外での事業の伸び

⁷ 自動車、マルチリスク住宅、健康、法的保護、日常事故の各保険。

⁸ イタリアの顧客について受託していた契約の終了を除く(-63 億ユーロ)。

⁹ 出典:Crif。

(9.9%増)が寄与したファイナンス・リースの 2.7%増、及びこれも海外での事業の伸び(4.7%増)が寄与したファクタリング取引量の 2.9%増でした。

- 一 最後に、**大口顧客部門**は当四半期、特に信用/債券/外国為替の分野で資本市場部門に恩恵をもたらした市場(特に債券発行)で活動を拡大することで 2018 年度第 1 四半期又は第 4 四半期よりも好ましい環境下で成長を達成しました。CACIB は、ユーロ建て債券発行¹⁰で世界第 2 位となる一方、投資銀行部門(株主資本市場のオリジネーション業務とアドバイザー業務)は市場低迷に苦しみました。**ファイナンス部門**は引き続き力強い伸びを示し、また、「Distribute to Originate」モデルを適用している CACIB は、2019 年 3 月に終了した 12 ヶ月間で 42%の平均プライマリー・ディストリビューション・レートを記録しました(この方針を強化した 2013 年と比べて 15 ポイント増)。最後に**資産運用部門(CACEIS)**は、2018 年 3 月末時点と比べてカストディー資産が 6.6%増、資産管理が 0.6%増でした。

当四半期の**基礎収益**は、前年同期比 0.1%増の 49 億 300 万ユーロでした。変動の大きいいくつかの会計項目の不利な基礎的効果に関連して収益が-4,600 万ユーロとなったコーポレート・センターを除き、全ての事業部門の基礎収益が 1.0%増となりました。特に**大口顧客部門**が好業績(4,400 万ユーロ増/3.3%増)を達成しました(顕著なのは、商業銀行部門の大口取引とストラクチャード・ファイナンス部門の活発な事業活動(5.2%増)がけん引したファイナンス事業です)。資本市場部門も信用/債券/為替分野で好業績を上げました。**フランスのリテール・バンキング部門**の基礎収益は、前年比で受取利息の順調な伸びを可能にする下降傾向の金利により、金利マージンへの圧力を相殺するボリューム効果を受けて前年同期比 1.3%増でした。事業部門自体の成長と顧客からの現金増加が寄与して、**資産運用サービス部門**も収益の大幅増(3.6%増)となりました。反対に、**保険部門**の基礎収益はほぼ横ばいでした(前年同期比 0.2%増)。これは、一層の金利低下とポートフォリオからの収益に対する当四半期の低い税率を特徴とした環境下で、当年度初頭に生命保険部門の投資マージンの慎重な計上方法を採用したことに帰せられます。当四半期の**資産運用部門**の基礎収益は、前年同期の高い水準(5,200 万ユーロ)から 3,200 万ユーロ減となった成功報酬の急減により 0.9%の微減となりました。これは、堅調な運用報酬の伸び(0.9%増)では補えませんでした。マイナス金利の持続にもかかわらず受取利息が堅調に伸びましたが、昨年以降の金融市場動向の影響を受けた手数料その他の収益低下を補えず、**イタリアのリテール・バンキング部門**も基礎収益が低下しました(3.9%減)。最後に、持分法適用会社からの寄与分として計上された自動車ローン提携事業が達成した好業績でも補えなかった競争の激しい環境を理由に、**消費者金融部門**の収益は低下しました。

前年同期と比べた収益の安定は、**SRF を除いた基礎営業費用**の安定と密接に結びついています(いずれも 0.1%増)。これは、全ての事業部門での適切な費用抑制を明確にしており、1.5%/2%の自然なインフレを相殺しました。但し、前年同期から当四半期までの費用の 400 万ユーロ増は、各部門の異なる傾向を覆い隠しています。例えば、アセット・ギャザリング部門は、開発投資とバンカ・レオナルドの連結範囲への統合を理由に、SRF を除いて営業費用が増加しました(1,800 万ユーロ増/2.5%増)。大口顧客部門も、当四半期の事業拡大に関連して費用増となりました(3,700 万ユーロ増/4.7%増)。これを相殺するようにリテール・バンキング部門と専門金融サービス部門は、構造費用節減計画の継続が寄与して、それぞれ費用を大幅に削減しました(2,300 万ユーロ減/2.2%減と 1,500 万ユーロ減/4.2%減)。最後に、コーポレート・センターはサポート部門間の相乗効果を高める取り組みを続けることで恩恵を受けました(1,400 万ユーロ減)。

SRF を除いた基礎コスト比率は **63.3%**となりました。これは、第 1 四半期としては好ましい水準であり、IFRIC 第 21 号の費用の大半をカバーしています。この費用は、当年度全体に及ぶものではなく、前年同期と比べて安定していま

¹⁰ ユーロ建ての全ての海外投資適格債券発行－世界各国の主幹事(出典:リフィニティブ(2019 年 3 月 31 日))。

す。

それでも、**SRF 拠出金の急増**(13.9%増)は、前年同期比 2.7%減となった基礎営業総利益の伸びに影響しています。SRF を含めると、**IFRIC 第 21 号に関連する費用**は、前年同期比 6.2%増の**4 億 8,900 万ユーロ**でした。SRF 拠出金は、2018 年度第 2 四半期に 1,100 万ユーロ増加した点にご注意ください。

信用リスク関連費用は、前年同期比 **22.4%減/8,900 万ユーロ減の 2 億 2,500 万ユーロ**でした。この低下は主に、大口顧客部門(特に、前年同期は 6,500 万ユーロの引当を行ったのに対して、当四半期は+1,500 万ユーロの引当金戻入れを計上した法人営業及び投資銀行部門)に帰せられます。他の事業部門は、前年同期から当四半期にかけて比較的穏やかな変動でした(フランスとイタリアのリテール・バンクは、それぞれ 12.6%減/600 万ユーロ減、15.1%減/1,200 万ユーロ減でした)。

残高に対するリスク関連費用¹¹は、2018 年度第 1 四半期の 29 ベーシス・ポイント及び同年度第 4 四半期の 23 ベーシス・ポイントに対して **21 ベーシス・ポイント**でした。信用の質指標が引き続き改善しているため、これは依然として低水準で、短期的な悪化の兆しはありません。すなわち、2019 年 3 月末時点の貸出不良債権比率は 3.3%(2018 年 3 月末時点と比べて 0.9 ポイント減)で、不良債権引当率は前年同期から 1.2 ポイント改善して 73.6%でした。

持分法適用会社の寄与分は、8.1%減/800 万ユーロ減の 8,500 万ユーロでした。欧州の FCA バンク及び中国の GAC との消費者金融提携事業によって達成されたこの好業績(26.0%増/1,600 万ユーロ増)は、コーポレート・センターが計上したマイナス変動(-2,300 万ユーロ)を一部相殺するに留まりました(すなわち、不動産売却益に関連する 2018 年度第 1 四半期の+1,800 万ユーロに対して、子会社のクレディ・アグリコル・グループ・インフラストラクチャ・プラットフォーム(CA-GIP)の初の連結対象化に伴うマイナス影響に關係する当四半期の-600 万ユーロ)。

非継続事業と非支配持分の控除前の税引前基礎利益は、**3.4%増**の 13 億 5,000 万ユーロでした。基礎的な実効税率は、2018 年度第 1 四半期の 29.9%に対して 32.3%でした(この増加は、税額控除できない SRF 拠出金の増加に主に帰せられます)。この税率は、フランスよりも税率の低い国での収益発生と追加ティア 1 債券からの税額控除を理由としたフランスの標準法人所得税率を大幅に下回っています(利払額はエクイティから直接控除されます(2018 年度第 1 四半期の-1 億 3,100 万ユーロに対して、3 月初旬の新規債券発行を考慮して当四半期は-1 億 4,100 万ユーロ))。したがって、**基礎税金費用**は **12.8%増**の 4 億 900 万ユーロでした。

非支配持分に帰せられる純利益は **5.6%減**の 1 億 4,600 万ユーロでした。これは主に、現在は持分法適用会社である子会社の連結対象化方法の変更によりコーポレート・センターに集中しています。

したがって、当四半期の**基礎純利益**は前年同期比 **1.0%増**の **7 億 9,600 万ユーロ**でしたが、**SRF 拠出金を除くと 3.5%増**です。

2019 年 3 月末時点のクレディ・アグリコル S.A.のソルベンシーは、2018 年 12 月 31 日時点と比べて **11.5%**と安定的な**普通株式ティア 1(CET1)レシオ**により、非常に高い堅牢性を維持しました。当四半期中の大きな変化により、互いに相殺する効果が生じました。すなわち、好ましい水準の内部留保(1 株当たり 0.11 ユーロ(1 株当たり表示収益の 50%)の配当引当金を含めて+9 ベーシス・ポイント)と証券ポートフォリオの未実現準備金のプラス変動(+23 ベーシス・ポイント)は、IFRS 第 16 号の初回適用の影響(-5 ベーシス・ポイント)と各事業部門のリスク・ウェイト資産の有機的成長(-29 ベーシス・ポイント)によって吸収されました。

2019 年 3 月末時点のリスク・ウェイト資産は、2018 年 12 月末時点と比べて 4.5%増の総額 3,210 億ユーロでした

¹¹ ローリング 4 四半期を対象とした平均貸倒引当金。当四半期以降、信用リスク指標に含まれるローン残高は、減損前の顧客向けローンのみである。

(これは主に、当四半期の未実現益の増加に伴うクレディ・アグリコル・アシュアランスのエクイティ増加に対応して、保険部門の 39 億ユーロを含めて 63 億ユーロとなったアセット・ギャザリング部門と 39 億ユーロ増の大口顧客部門に集中しました)。

段階適用レバレッジ・レシオは、2018 年 12 月末時点と比べて 0.2 ポイント増の 4.4%¹²でした。当四半期中の段階適用レバレッジ・レシオ¹³の平均指標は 4.0%でした。

クレディ・アグリコル S.A.の過去 12 ヶ月間の平均 LCR (流動性カバレッジ比率)は、2019 年 3 月末時点で 133.3%¹⁴となり、中期計画に定めるおよそ 110%という目標水準を上回っています。

2019 年 4 月末現在、クレディ・アグリコル S.A.は当年度の中・長期市場資金調達プログラムの 53%を完了しました。当行は 90 億ユーロ相当額を調達し、このうち 53 億ユーロ相当額が優先シニア債と担保付きシニア債、22 億ユーロ相当額が非優先シニア債、15 億ユーロ相当額がティア 2 債券でした。2019 年度のプログラムは、およそ 50 億~60 億ユーロの TLAC 適格債 (ティア 2 債券又は非優先シニア債)を含めて 170 億ユーロに設定されています。クレディ・アグリコル S.A.が 2019 年 2 月に 12 億 5,000 万ドル (11 億ユーロ)の AT1 債券発行を達成したことにご注意ください。この発行は、年間資金調達プログラムとは無関係です。

* *
*

フィリップ・ブラサック最高経営責任者は、2019 年度第 1 四半期の業績と事業活動について「クレディ・アグリコル S.A.の各事業部門は当四半期に、事業面・財務面で優れた業績を再び達成しました。顧客一人ひとりとの包括的且つ持続可能な関係の構築を基盤とし、バランスのよい多様なクレディ・アグリコル S.A.のユニバーサル銀行モデルは、頑強さ、一貫性、成果を実現します。ソルベンシーは長期目標を上回る水準にあります。こうした実績は、有機的成長、社内の相乗効果、各事業部門の一体性を重視した戦略の妥当性を改めて証明しています。このような非常に優れた業績は、6 月に公表される次期中期計画に対する信頼を与えます」とコメントしました。

¹² (2016 年まで遡って適用される)ECB から受領した許可を受けて、2019 年 3 月 31 日時点のレバレッジ・レシオ (及び 2018 年 12 月 31 日の試算値)は、預金供託公庫への規制対象預金の集中に関連するリスクの除外を考慮している。

¹³ 当四半期の最初の 2 ヶ月間の平均月末リスク。

¹⁴ この比率の分子と分母は、クレディ・アグリコル S.A.についてはそれぞれ 1,776 億ユーロ、1,332 億ユーロとなった。

クレディ・アグリコル・グループ

2019 年度第 1 四半期のクレディ・アグリコル・グループの業績は、当グループの全ての子会社の活発な事業活動と非常に順調な営業費用抑制が寄与して、非常に高い営業効率(+2 ポイントの乖離効果)を示しています。リスク関連費用も大幅に低下し、短期的な悪化の兆候のない非常に低い水準に達しています。表示純利益は、特殊要因(これは、当四半期はわずかなマイナスでしたが、2018 年度第 1 四半期はプラスでした)を理由に前年同期比 5.5%減でした。特殊要因を除いた基礎純利益は、6.1%増の 14 億 3,500 万ユーロでした。SRF への拠出金を除いた基礎純利益は 8.1%増でした。地域銀行は当四半期の業績が非常に好調で、当四半期の純利益寄与分が 13.4%増加しました。これには、優れた営業効率(乖離効果は+4.2 ポイント)とリスク関連費用の急減(46.1%減)が寄与しました。当グループの財務ポジションは、2019 年 3 月 31 日時点で CET1 レシオが 0.3 ポイント増の 15.3%になったことで、当四半期は更に強化されました。

2019 年度第 1 四半期には、「Strategic Ambition 2020」中期経営計画(MTP)の一環として実施されている戦略の妥当性が改めて証明されました。高い水準の事業活動と効率的な事業体制の一部としての顧客獲得の継続が寄与して、全ての事業部門が多様なユニバーサル銀行モデルの強みを実証することができました。

2019 年初頭以降、当グループは以下のような事業案件を発表しました。

- CACEIS は、KAS バンクの全資本を対象とする友好的な公開買い付けを実施する予定です。CACEIS は、オランダにおける自社の地位と保険会社及び年金基金の顧客に対応する能力を高めることで、欧州全体に及ぶ野心を明確にしています。この買収は、相乗効果を生む大きな可能性によって価値を創造するでしょう。今回の株式公開買い付けは、2019 年度第 3 四半期に完了する見込みです。
- クレディ・アグリコル S.A.とサンタンデルは、それぞれのカストディー事業と資産運用事業の合併を発表しました。両社はこの合併後、CACEIS の名称を維持する新会社の持分をそれぞれ 69.5%、30.5%保有し、スペイン及び中南米(ブラジル、メキシコ、コロンビア)での CACEIS とサンタンデル・セキュリティーズ・サービシズ(「S3」)の事業を統合します。この新会社は、規模の拡大と競争的地位の向上で利益を得るでしょう。グループの拡大により、潜在性の高い市場(中南米とアジア)での成長と新たな機会を獲得する上で好位置に立てるでしょう。この合併は 2019 年末までに完了する見込みです。
- CACIB は、バンク・サウジ・フランジ(BSF)の持分 4.9%をリップルウッド率いるコンソーシアムに売却する取引を完了しました。これにより BSF に対する CACIB の持分は 10%まで低下し、また、持分の 6%に対する新株引受権行使を前提とすると、今年末までに 4%まで低下します。この合意の影響は、2019 年度第 2 四半期に計上されます。

クレディ・アグリコル・グループの 2019 年度第 1 四半期の表示純利益は、前年同期の 14 億 2,900 万ユーロに対して 5.5%減の 13 億 5,000 万ユーロでした。

特殊要因¹⁵は、当四半期の表示純利益に 8,500 万ユーロのマイナス影響を及ぼしました。特殊要因がカバーしたのは、住宅購入貯蓄プラン引当金の変動(-6,500 万ユーロ。税引前及び非支配持分控除前では-9,900 万ユーロ)、DVA(債務評価調整)(-600 万ユーロ)、貸付ポートフォリオ引当(-1,400 万ユーロ)など変動の大きい経常的な会計項目だけです。前年同期の特殊要因は+7,600 万ユーロで、これには主に、イタリアの 3 行の買収時に計上された負ののれんの調整(+7,400 万ユーロ)、パイオニアの統合費用(-400 万ユーロ)、変動の大きい経常的な会計項目(総額

¹⁵ クレディ・アグリコル・グループに関連する特殊要因の詳細は 14 ページ、表示利益と基礎的利益の調整については 17 ページを参照。

+700 万ユーロ)が含まれます。

これらの特殊要因を除いた当四半期の**基礎純利益**は、前年同期比 **6.1%増**の **14 億 3,500 万ユーロ**でした。**SRF 拠出金を除くと 8.1%増**となります。

表 2: クレディ・アグリコル・グループ — 表示実績と基礎的実績 (2019 年度第 1 四半期と 2018 年度第 1 四半期)

En m€	Q1-19 stated	Q1-18 stated	Var Q1/Q1 stated	Q1-19 underlying	Q1-18 underlying	Var Q1/Q1 underlying
Revenues	8,196	8,258	(0.7%)	8,323	8,249	+0.9%
Operating expenses excl.SRF	(5,277)	(5,343)	(1.2%)	(5,277)	(5,333)	(1.1%)
SRF	(422)	(359)	+17.4%	(422)	(359)	+17.4%
Gross operating income	2,497	2,556	(2.3%)	2,623	2,556	+2.6%
Cost of risk	(281)	(421)	(33.2%)	(281)	(421)	(33.2%)
Cost of legal risk	-	-	n.m.	-	-	n.m.
Equity-accounted entities	95	99	(3.6%)	95	99	(3.6%)
Net income on other assets	10	20	(48.5%)	10	20	(48.5%)
Change in value of goodwill	-	86	(100.0%)	-	-	n.m.
Income before tax	2,321	2,340	(0.8%)	2,448	2,254	+8.6%
Tax	(848)	(767)	+10.6%	(889)	(767)	+16.0%
Net income from discont'd or held-for-sale ope.	(0)	(1)	(99.5%)	(0)	(1)	(99.5%)
Net income	1,473	1,572	(6.3%)	1,558	1,486	+4.8%
Non controlling interests	(123)	(143)	(14.2%)	(123)	(134)	(8.1%)
Net income Group Share	1,350	1,429	(5.5%)	1,435	1,352	+6.1%
Cost/Income ratio excl.SRF (%)	64.4%	64.7%	-0.3 pp	63.4%	64.7%	-1.3 pp

基礎収益は前年同期比 **0.9%増**でした。この伸び率は、(コーポレート・センターを除く)全ての事業部門の範囲内では **2.1%増**です。この伸びは、特にフランスのリテール・バンク(3.4%増)と大口顧客部門(3.3%増)が達成した好業績に主に帰せられます。

SRF への拠出金を除いた当四半期の基礎営業費用は、リテール・バンクと専門金融サービス部門の費用抑制が寄与して前年同期比 **1.1%減**でした。**SRF を除いた当四半期の基礎コスト比率**は、前年同期から **1.3 ポイント**改善して **63.4%**でした。**SRF 拠出金**は前年同期比 **17.4%増**でした。前年同期から当四半期までの営業総利益の緩やかな増加傾向は **2.6%上昇**し、SRF 拠出金を除くと **4.5%の上昇**となります。

リスク関連費用も前年同期比 **33.2%減**と大幅に低下しました。当四半期の残高に対するリスク関連費用¹⁶⁾は、**17 ベーシス・ポイント**で安定しており、非常に低い水準を維持しています。不良債権比率は、2019 年 3 月末時点で **2.6%**となり(前年 3 月末時点と比べて **0.4 ポイント減**)、引当率は **84.4%**(**0.6 ポイント増**)でした。

当四半期の持分法適用会社の寄与分は、前年同期比で **3.6%減/400 万ユーロ減**でした。

当四半期の**他の資産に関する純利益**は **1,000 万ユーロ**となり、これには、クレディ・アグリコル-GIP(クレディ・アグリコル・グループ・インフラストラクチャ・プラットフォーム)の初の統合に関係するコーポレート・センターへの影響が含まれます。2018 年度第 1 四半期には、この項目は **2,000 万ユーロ**となり、これには主に、コーポレート・センターも関係する不動産売却益が含まれていました。

¹⁶⁾ ローリング 4 四半期を対象とした平均貸倒引当金。当四半期以降、信用リスク指標に含まれるローン残高は、減損前の顧客向けローンのみである。

この結果、当四半期の**税引前基礎利益**は、前年同期比 8.6%増の 24 億 4,800 万ユーロでした。基礎的法人所得税費用は前年同期比 **16.0%増**でした。基礎実効税率は前年同期比 2.2 ポイント増の 37.8%で、これは主に、控除不能な SRF 拠出金の増加に帰せられます。

地域銀行は、当四半期も積極的な顧客獲得を継続し、3 万 5,500 件の新規法人顧客¹⁷の純増と 2019 年初頭以降で 1 万 5,000 件の EKO 口座開設が達成されました。この商業的成果は、クレディ・アグリコル S.A.の各事業部門(その商品は、当グループの主要販売チャネルであり、且つフランスの主要地域銀行として地域銀行が販売しています)の成長に大きく寄与しました。これにより、顧客のエクイップメント・レートは引き続き上昇しています。すなわち、プレミアムカードの加入件数が昨年 3 月から今年 3 月までで 10.8%増加すると共に、損害保険と個人保険が 4.5%増加しました。

ローン残高は、2018 年 3 月 31 日時点と比べて 6.7%増でした。この伸びをけん引したのは全てのセグメントで、特に住宅ローンと消費者ローンがそれぞれ 7.4%増、16.2%増でした。

顧客貯蓄は、オン・バランスシート預金(5.8%増)と特に要求払預金(10.4%増)及び非課税貯蓄性預金(特に Livret A 預金、10.5%増)がけん引して前年同期比 4.2%増でした。オフ・バランスシート預金は、生命保険資産(3.6%増)が主導して前年同期比 1.6%増と控えめな伸びでした。当四半期の総流入額に占めるユニット・リンク型保険の割合は、前年同期と比べて横ばいの 17.6%でした。

クレディ・アグリコル・グループの**基礎純利益**に対する地域銀行の寄与分は、前年同期比 **13.4%増の 6 億 6,500 万ユーロ**でした。基礎収益は、好調な手数料(3.2%増。このうち保険商品の手数料は 8.2%増)と地域銀行の投資ポートフォリオの再評価に対する市況の好ましい影響により 3.9%増の 34 億 9,000 万ユーロでした。**SRF を除いた当四半期の基礎費用**は、21 億 9,200 万ユーロと安定的でした(前年同期比 0.3%減)。**SRF を除いた基礎コスト比率は 62.8%**で、前年同期から **2.7 ポイント改善**しました。同時に、SRF 拠出金費用は(前年同期の 6,800 万ユーロに対して)9,000 万ユーロまで増加しました。**リスク関連費用**は、前年同期比で引き続き急減となる 5,600 万ユーロでした(46.1%減)。残高に対するリスク関連費用¹⁶は **12 ベーシス・ポイント**、2019 年 3 月末時点の貸出不良債権比率は 2.0%(2018 年 3 月末時点と比べて 0.2 ポイント減)、不良債権引当率は前年同期比 2 ポイント減の 98.2%でした。

税引前利益は **16.4%増**の 11 億 5,500 万ユーロでした。増加した SRF に関連する費用の控除不能な性質を理由に基礎実効税率が(41.0%に対して)42.6%となったため、**税金費用**は前年同期比 **20.8%増**となりました。

クレディ・アグリコル・グループの他の事業部門の業績については、本プレスリリースのクレディ・アグリコル S.A.に関するセクションに詳述されています。

クレディ・アグリコル・グループの財務力は引き続き堅牢です。当四半期の**普通株式ティア 1(CET1)**レシオは、2018 年 12 月 31 日時点と比べて今年 3 月 31 日時点では 0.3 ポイント増の **15.3%**でした。これは主に、内部留保の寄与分(+19 ベーシス・ポイント)と未実現準備金の増加(+12 ベーシス・ポイント)につながった好ましい市況に帰せられます。この 2 つの効果によって、IFRS 第 16 号の初回適用で生じるマイナス影響が概ね相殺されました。RWA は、2018 年 12 月末から 2019 年 3 月末までに 1.1%増の 5,480 億ユーロとなりました。すなわち、地域銀行の信用リスク・モデルのアップデートにより、アセット・ギャザリング部門と大口顧客部門で計上された増加分が相殺されました。CET1 レシオは、2019 年 1 月 1 日現在でクレディ・アグリコル・グループに適用される SREP 要件(ECB が 2019 年 2 月に 9.5%に設定)を 5.8 ポイント上回る大きなバッファーを提供します(カウンターシクリカル・バッファーを含む)。当グループは、最大分配可能額(MDA)に対して 3,100 万ユーロという非常に大きなバッファーを有しています。

¹⁷ BforBank を除いたデータ。

段階適用レバレッジ・レシオ¹⁸は、2018年12月末から0.1ポイント上昇して2019年3月31日時点で5.7%でした。段階適用レバレッジ・レシオ¹⁹の四半期中平均指標は、当四半期については5.3%でした。

2019年3月31日時点のTLACレシオは、適格優先シニア債を除くと**22.6%**でした。これは、同じ計算方法を用いた2018年12月31日時点と比べて1.2ポイントの大幅増であり、また、適格優先シニア債を除いた2019年の最低要件である19.5%を3.1ポイント上回っています。2019年までに22%というTLACレシオ目標(適格優先シニア債を除く)は、現時点で満たされています。

クレディ・アグリコル・グループの流動性ポジションは堅固です。2019年3月31日現在の当グループのバンキング部門のバランスシート上の現金は1兆2,560億ユーロで、安定資産に対する安定資金の超過額(2018年12月末時点と比べて60億ユーロ増の1,210億ユーロ)を示しており、中期計画目標を1,000億ユーロ上回っています。安定資金の超過額は、顧客や顧客関連業務のLCR(流動性カバレッジ比率)要件によって生じたHQLA(高品質流動資産)証券ポートフォリオの資金を賄います。これらの証券(1,170億ユーロ)は、中央銀行預託分を除いた短期債券を3倍以上カバーします。

証券ポートフォリオのキャピタルゲインとヘアーカットを含む**流動性準備金**は、**2019年3月31日時点で2,740億ユーロ**でした。12ヶ月間の当グループの平均LCRレシオは、2019年3月末時点で132.8%²⁰となり、およそ110%という中期計画目標を上回っています。

当グループの**主要発行体**は**2019年4月末現在、中・長期債によって市場で157億ユーロ相当額**を調達し、このうちの57%はクレディ・アグリコル S.A.によって発行されました(90億ユーロ相当額)。更に、クレディ・アグリコル・グループのリテール・ネットワーク(地域銀行、LCL、CA イタリア)と他の外部ネットワークで14億ユーロ規模の調達が行われると共に、2019年4月末までに国際機関からの借入も行われました。

* *

*

*

*

SAS Rue La Boétie 会長とクレディ・アグリコル S.A.の取締役会議長を務めるドミニク・ルフェーブルは、当グループの2019年度第1四半期の業績と活動について次のようにコメントしました。「フランス全土の顧客に対応する当グループの顧客重視型ユニバーサル銀行モデルは、当四半期もその効果を証明しています。特にフランスの地域銀行と大口顧客部門の事業活動と業績の水準が、その根拠となっています。当グループは、自らの堅牢な財務基盤を更に強化し、欧州でも最高水準の1つに達すると共に、経済面や規制面に留まらず社会面や環境面など将来の課題をより深く理解することができます」

¹⁸ (2016年まで遡って適用される)ECBから受領した許可を受けて、2019年3月31日時点のレバレッジ・レシオ(及び2018年12月31日の試算値)は、預金供託公庫への規制対象預金の集中に関連するリスクの除外を考慮している。

¹⁹ 当四半期の最初の2ヶ月間の平均月末リスク。

²⁰ この比率の分子と分母は、それぞれ2,119億ユーロ、1,596億ユーロとなった。

企業の社会的・環境的責任

エネルギー転換

クレディ・アグリコル CIB は、IONITY に対して 2,000 万ユーロのグリーンローンを実行することで、欧州における将来の「エレクトロモビリティ」を支援しています。2017 年に創設された IONITY は、自動車メーカーの BMW グループ、ダイムラーAG、フォード・モーター社、及びアウディとポルシェを含むフォルクスワーゲン・グループによる合併会社です。その目的は、欧州の主要高速道路沿いに高圧充電ネットワークを確立することです。インフラプロジェクトの上流へのクレディ・アグリコル CIB の関与は、電気自動車をめぐる大きな問題の 1 つ(長距離運転)を克服することを目的としています。

CPR AM と CDP(旧 Carbon Disclosure Project)は、2019 年 1 月にクライメート・アクション・ファンドをローンチしました。これは、気候関連のリスク管理への評価が高い企業に重点を置きマルチ・セクター・アプローチを用いたテーマ型のグローバル・エクイティ・ファンドです。

エンジー(50%)とクレディ・アグリコル・アシュアランス(50%)が共同所有する FEIH(Futures Energies Investissements Holding)の創設から 5 年が経過して、当初のポートフォリオが 3 倍となり、ソーラーと風力の設備容量が 1.5GW に達しました。クレディ・アグリコル・アシュアランスは、現在ではフランスの再生可能エネルギー分野で主要機関投資家となっています。

CSR の各賞

Amundi Planet Emerging Green One は、Environmental Finance が授与する「Green Bond Fund of the Year」賞と「Initiative of the Year for Innovative Thinking」賞を受賞しました。2019 年 3 月の Climate Bonds Initiative による「Initiative Green Finance Collaboration of the Year」賞の受賞に続くこの 2 つの新たな受賞は、グリーンファイナンス分野におけるアムンディの地位を引き上げました。Amundi Planet Emerging Green One Fund SICAV-SIF は、ロンドンに本拠を置くエマージングマーケットプラットフォームを通じて運用する最大規模のグリーンボンドファンド(設定時の運用資産は 14 億 2,000 万ユーロ)です。

クレディ・アグリコル・アシュアランスは、Stop Illetrism プログラムのコーポレート・シチズンシップ部門で Argus de l'Assurance より Argus d'or を受賞しました。Argus de l'Assurance の各賞は、保険業界で最も優れたイノベーション施策を認定するものです。

付属資料 1 – 特殊要因(クレディ・アグリコル S.A.とクレディ・アグリコル・グループ)

表 3: クレディ・アグリコル S.A. – 特殊要因(2019 年度第 1 四半期と 2018 年度第 1 四半期)

€m	Q1-19		Q1-18	
	Gross impact*	Impact on NIGS	Gross impact*	Impact on NIGS
DVA (LC)	(8)	(6)	5	4
Loan portfolio hedges (LC)	(19)	(14)	4	3
Home Purchase Savings Plans (FRB)	(8)	(5)	-	-
Home Purchase Savings Plans (CC)	(13)	(8)	-	-
Total impact on revenues	(48)	(33)	9	6
Pioneer integration costs (AG)	-	-	(9)	(4)
Total impact on operating expenses	-	-	(9)	(4)
Change of value of goodwill (CC) ⁽²⁾	-	-	86	66
Total impact on change of value of goodwill	-	-	86	66
<i>Total impact of specific items</i>	<i>(48)</i>	<i>(33)</i>	<i>86</i>	<i>68</i>
<i>Asset gathering</i>	<i>-</i>	<i>-</i>	<i>(9)</i>	<i>(4)</i>
<i>French Retail banking</i>	<i>(8)</i>	<i>(5)</i>	<i>-</i>	<i>-</i>
<i>International Retail banking</i>	<i>-</i>	<i>-</i>	<i>-</i>	<i>-</i>
<i>Specialised financial services</i>	<i>-</i>	<i>-</i>	<i>-</i>	<i>-</i>
<i>Large customers</i>	<i>(27)</i>	<i>(20)</i>	<i>9</i>	<i>6</i>
<i>Corporate centre</i>	<i>(13)</i>	<i>(8)</i>	<i>86</i>	<i>66</i>

* 税引前及び少数株主持分控除前の影響。

(2) イタリアの 3 行に関する追加の負ののれん。

表 4: クレディ・アグリコル・グループ特殊要因(2019 年度第 1 四半期と 2018 年度第 1 四半期)

€m	Q1-19		Q1-18	
	Gross impact *	Impact in NIGS	Gross impact*	Impact in NIGS
DVA (LC)	(8)	(6)	5	4
Loan portfolio hedges (LC)	(19)	(14)	4	3
Home Purchase Savings Plans (LCL)	(8)	(5)	-	-
Home Purchase Savings Plans (CC)	(13)	(8)	-	-
Home Purchase Savings Plans (RB)	(78)	(51)	-	-
Total impact on revenues	(126)	(85)	9	7
Pioneer integration costs (AG)	-	-	(9)	(4)
Integration costs 3 Italian banks (IRB)	-	-	-	-
Total impact on operating expenses	-	-	(9)	(4)
Change of value value goodwill (CC)	-	-	86	74
Total impact on change of value of goodwill			86	74
Total impact of specific items	(126)	(85)	86	76
<i>Asset gathering</i>	-	-	(9)	(4)
<i>French Retail banking</i>	(87)	(57)	-	-
<i>International Retail banking</i>	-	-	-	-
<i>Specialised financial services</i>	-	-	-	-
<i>Large customers</i>	(27)	(20)	9	7
<i>Corporate centre</i>	(13)	(8)	86	74

* 税引前及び少数株主持分控除前の影響。

(2) イタリアの 3 行に関する追加の負ののれん。

付属資料 2 – クレディ・アグリコル S.A.: 表示損益計算書と詳細な基礎的損益計算書

表 5: クレディ・アグリコル S.A. – 表示実績から基礎的実績 (2019 年度第 1 四半期と 2018 年度第 1 四半期)

€m	Q1-19 stated	Specific items	Q1-19 underlying	Q1-18 stated	Specific items	Q1-18 underlying	Var Q1/Q1 stated	Var. Q1/Q1 underlying
Revenues	4,855	(48)	4,903	4,909	9	4,900	(1.1%)	+0.1%
Operating expenses excl. SRF	(3,104)	-	(3,104)	(3,110)	(9)	(3,100)	(0.2%)	+0.1%
SRF	(332)	-	(332)	(291)	-	(291)	+13.9%	+13.9%
Gross operating income	1,419	(48)	1,467	1,508	0	1,508	(5.9%)	(2.7%)
Cost of risk	(225)	-	(225)	(314)	-	(314)	(28.4%)	(28.4%)
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	-	n.m.	n.m.
Equity-accounted entities	85	-	85	93	-	93	(8.1%)	(8.1%)
Net income on other assets	23	-	23	18	-	18	+23.8%	+23.8%
Change in value of goodwill	-	-	-	86	86	-	(100.0%)	n.m.
Income before tax	1,302	(48)	1,350	1,391	86	1,305	(6.4%)	+3.4%
Tax	(394)	14	(409)	(362)	(0)	(362)	+8.9%	+12.8%
Net income from discount'd or held-for-sale ope.	(0)	-	(0)	(1)	-	(1)	n.m.	n.m.
Net income	908	(34)	941	1,028	86	942	(11.7%)	(0.1%)
Non controlling interests	(145)	1	(146)	(172)	(18)	(154)	(15.7%)	(5.6%)
Net income Group Share	763	(33)	796	856	68	788	(10.9%)	+1.0%
Earnings per share (€)	0.22	(0.01)	0.23	0.25	0.02	0.23	(14.7%)	(0.9%)
Cost/Income ratio excl. SRF (%)	63.9%		63.3%	63.3%		63.3%	+0.6 pp	+0.0 pp
Net income Group Share excl. SRF	1,070	275	1,103	1,134	346	1,066	(5.6%)	+3.5%

付属資料 3 - クレディ・アグリコル S.A.: 部門別実績

表 6: クレディ・アグリコル S.A. - 部門別実績 (2019 年度第 1 四半期と 2018 年度第 1 四半期)

€m	Q1-19 (stated)						Total
	AG	FRB (LCL)	IRB	SFS	LC	CC	
Revenues	1,469	861	677	681	1,339	(171)	4,855
Operating expenses excl. SRF	(753)	(593)	(420)	(342)	(819)	(177)	(3,104)
SRF	(5)	(30)	(15)	(18)	(186)	(78)	(332)
Gross operating income	711	238	241	320	334	(425)	1,419
Cost of risk	4	(44)	(89)	(107)	10	2	(225)
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	-	-
Equity-accounted entities	13	-	-	78	(0)	(6)	85
Net income on other assets	0	1	0	0	3	19	23
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	-	-
Income before tax	728	194	153	291	346	(410)	1,302
Tax	(199)	(69)	(44)	(64)	(129)	111	(394)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	(0)	-	-	-	-	-	(0)
Net income	530	125	109	227	217	(299)	908
Non controlling interests	(77)	(6)	(29)	(33)	(4)	4	(145)
Net income Group Share	453	119	79	194	212	(295)	763

AG: アセット・ギャザリング及び保険部門、RB: リテール・バンキング部門 (FRB: フランス、IRB: 海外)、SFS: 専門金融サービス部門、LC: 大口顧客部門、CC: コーポレート・センター

€m	Q1-18 (stated)						Total
	AG	FRB (LCL)	IRB	SFS	LC	CC	
Revenues	1,467	858	677	688	1,331	(112)	4,909
Operating expenses excl. SRF	(744)	(613)	(423)	(357)	(782)	(190)	(3,110)
SRF	(3)	(26)	(17)	(17)	(168)	(61)	(291)
Gross operating income	720	219	237	314	381	(363)	1,508
Cost of risk	(5)	(51)	(93)	(99)	(64)	(2)	(314)
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	-	-
Equity-accounted entities	12	-	-	62	1	18	93
Net income on other assets	0	2	(0)	0	(0)	17	18
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	86	86
Income before tax	727	170	144	277	318	(245)	1,391
Tax	(210)	(59)	(47)	(64)	(108)	126	(362)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	(0)	(0)	-	-	-	-	(1)
Net income	517	111	97	212	210	(119)	1,028
Non controlling interests	(74)	(5)	(27)	(34)	(4)	(28)	(172)
Net income Group Share	443	106	70	179	206	(147)	856

付属資料 4 – クレディ・アグリコル・グループ: 表示損益計算書と詳細な基礎的損益計算書

表 7: クレディ・アグリコル・グループ – 表示実績から基礎的実績 (2019 年度第 1 四半期と 2018 年度第 1 四半期)

€m	Q1-19 stated	Specific items	Q1-19 underlying	Q1-18 stated	Specific items	Q1-18 underlying	Δ Q1/Q1 stated	Var Q1/Q1 underlying
Revenues	8,196	(126)	8,323	8,258	9	8,249	(0.7%)	+0.9%
Operating expenses excl. SRF	(5,277)	-	(5,277)	(5,343)	(9)	(5,333)	(1.2%)	(1.1%)
SRF	(422)	-	(422)	(359)	-	(359)	+17.4%	+17.4%
Gross operating income	2,497	(126)	2,623	2,556	0	2,556	(2.3%)	+2.6%
Cost of risk	(281)	-	(281)	(421)	-	(421)	(33.2%)	(33.2%)
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	-	n.m.	n.m.
Equity-accounted entities	95	-	95	99	-	99	(3.6%)	(3.6%)
Net income on other assets	10	-	10	20	-	20	(48.5%)	(48.5%)
Change in value of goodwill	-	-	-	86	86	-	(100.0%)	n.m.
Income before tax	2,321	(126)	2,448	2,340	86	2,254	(0.8%)	+8.6%
Tax	(848)	41	(889)	(767)	(0)	(767)	+10.6%	+16.0%
Net income from discount'd or held-for-sale ope.	(0)	-	(0)	(1)	-	(1)	(99.5%)	(99.5%)
Net income	1,473	(85)	1,558	1,572	86	1,486	(6.3%)	+4.8%
Non controlling interests	(123)	-	(123)	(143)	(10)	(134)	(14.2%)	(8.1%)
Net income Group Share	1,350	(85)	1,435	1,429	76	1,352	(5.5%)	+6.1%
Cost/Income ratio excl. SRF (%)	64.4%		63.4%	64.7%		64.7%	-0.3 pp	-1.3 pp
Net income Group Share excl. SRF	1,754	(85)	1,839	1,777	76	1,701	(1.3%)	+8.1%

付属資料 5 - クレディ・アグリコル・グループ: 部門別実績

表 8: クレディ・アグリコル・グループ—部門別実績(2019 年度第 1 四半期と 2018 年度第 1 四半期)

€m	Q1-19 (stated)							
	RB	LCL	IRB	AG	SFS	LC	CC	Total
Revenues	3,411	861	702	1,461	681	1,338	(257)	8,196
Operating expenses excl. SRF	(2,192)	(593)	(439)	(753)	(342)	(819)	(139)	(5,277)
SRF	(90)	(30)	(15)	(5)	(18)	(186)	(78)	(422)
Gross operating income	1,129	238	248	703	320	333	(474)	2,497
Cost of risk	(56)	(44)	(88)	4	(107)	10	1	(281)
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	-	-	-
Equity-accounted entities	4	-	-	13	78	(0)	-	95
Net income on other assets	(0)	1	0	0	0	3	7	10
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	-	-	-
Income before tax	1,077	194	160	720	291	345	(466)	2,321
Tax	(463)	(69)	(46)	(197)	(64)	(129)	119	(848)
Net income from discount'd or held-for-sale ope.	-	-	-	(0)	-	-	-	(0)
Net income	614	125	114	523	227	216	(346)	1,473
Non controlling interests	(0)	(0)	(24)	(73)	(33)	0	7	(123)
Net income Group Share	614	125	90	450	194	216	(339)	1,350

AG: アセット・ギャザリング及び保険部門、RB: リテール・バンキング部門(FRB: フランス、IRB: 海外)、SFS: 専門金融サービス部門、LC: 大口顧客部門、CC: コーポレート・センター

€m	Q1-18 (stated)							
	RB	LCL	AG	IRB	SFS	LC	CC	Total
Revenues	3,358	858	1,463	703	688	1,331	(143)	8,258
Operating expenses excl. SRF	(2,200)	(613)	(744)	(442)	(357)	(782)	(205)	(5,343)
SRF	(68)	(26)	(3)	(17)	(17)	(168)	(61)	(359)
Gross operating income	1,090	219	716	245	314	381	(409)	2,556
Cost of risk	(104)	(51)	(5)	(95)	(99)	(64)	(2)	(421)
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	-	-	-
Equity-accounted entities	5	-	12	-	62	1	19	99
Net income on other assets	2	2	0	(0)	0	(0)	17	20
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	-	86	86
Income before tax	993	170	723	149	277	317	(290)	2,340
Tax	(405)	(59)	(209)	(48)	(64)	(108)	127	(767)
Net income from discount'd or held-for-sale ope.	-	(0)	(0)	-	-	-	-	(1)
Net income	588	111	513	102	212	209	(163)	1,572
Non controlling interests	(1)	0	(70)	(23)	(34)	1	(17)	(143)
Net income Group Share	587	111	443	79	179	210	(180)	1,429

付属資料 6 — 1 株当たり利益、1 株当たり純資産の計算に使用される方法

表 9: クレディ・アグリコル S.A. — 1 株当たりデータ、1 株当たり正味簿価

(€m)	Q1-19	Q1-18	Var Q1/Q1
Net income Group share - stated	763	856	(-10.9%)
- Interests on AT1, including issuance costs, before tax	(141)	(131)	+7.2%
NIGS attributable to ordinary shares - stated [A]	622	724	(-14.1%)
Average number shares in issue, excluding treasury shares (m) [B]	2,863.3	2,843.8	+0.7%
Net earnings per share - stated [A]/[B]	0.22 €	0.25 €	(-14.7%)
Underlying net income Group share (NIGS)	796	788	+1.0%
Underlying NIGS attributable to ordinary shares [C]	655	656	(-0.2%)
Net earnings per share - underlying [C]/[B]	0.23 €	0.23 €	(-0.9%)

(€m)	31/03/2019	31/12/2018	31/03/2018
Shareholder's equity Group share	61,800	58,811	57,173
- AT1 issuances	(6,109)	(5,011)	(4,999)
- Unrealised gains and losses on OCI - Group share	(2,757)	(1,696)	(2,368)
- Payout assumption on annual results*	(1,976)	(1,975)	(1,802)
Net book value (NBV), not revaluated, attributable to ordin. sh. [D]	50,958	50,129	48,004
- Goodwill & intangibles** - Group share	(17,784)	(17,843)	(17,730)
Tangible NBV (TNBV), not revaluated attrib. to ordinary sh. [E]	33,174	32,286	30,274
Total shares in issue, excluding treasury shares (period end, m) [F]	2,863.7	2,862.1	2,843.3
NBV per share, after deduction of dividend to pay (€) [D]/[F]	17.8 €	17.5 €	16.9 €
+ Dividend to pay (€) [H]	0.69 €	0.69 €	0.63 €
NBV per share, before deduction of dividend to pay (€)	18.5 €	18.2 €	17.5 €
TNBV per share, after deduction of dividend to pay (€) [G]=[E]/[F]	11.6 €	11.3 €	10.6 €
TNBV per sh., before deduct. of divid. to pay (€) [G]+[H]	12.3 €	12.0 €	11.3 €

* 取締役会に提案された支払うべき配当。

** 持分法適用会社ののれんを含む。

Disclaimer

The financial information for the first quarter of 2019 for Crédit Agricole S.A. and the Crédit Agricole Group comprises this press release and the attached quarterly financial report and presentation, available at <https://www.credit-agricole.com/en/finance/finance/financial-publications>.

This report may include prospective information on the Group, supplied as information on trends. This data does not represent forecasts within the meaning of European Regulation 809/2004 of 29 April 2004 (chapter 1, article 2, §10).

This information was developed from scenarios based on a number of economic assumptions for a given competitive and regulatory environment. Therefore, these assumptions are by nature subject to random factors that could cause actual results to differ from projections.

Likewise, the financial statements are based on estimates, particularly in calculating market value and asset impairment.

Readers must take all these risk factors and uncertainties into consideration before making their own judgement.

Applicable standards and comparability

The figures presented for the three-month period ending 31 March 2019 have been prepared in accordance with IFRS as adopted in the European Union and applicable at that date, and with prudential regulations currently in force. This financial information does not constitute a set of financial statements for an interim period as defined by IAS 34 “Interim Financial Reporting” and has not been audited.

Note: The scopes of consolidation of Crédit Agricole S.A. and Crédit Agricole Group have not changed materially since the Crédit Agricole S.A. 2018 Registration Document and its A.01 update (including all regulatory information about Crédit Agricole Group) were filed with the AMF (French Securities Regulator).

The sum of values contained in the tables and analyses may differ slightly from the total reported due to rounding.

Since 3 May 2018, Banca Leonardo has been included in the scope of consolidation of Crédit Agricole Group as a subsidiary of Indosuez Wealth Management. Historical data have not been restated on a proforma basis.

決算スケジュール

- 2019年5月21日 年次株主総会(メス)
- 2019年5月24日 配当落ち日
- 2019年5月28日 配当支払日
- 2019年6月6日 新中期経営計画(MTP)の発表(モンルージュ)
- 2019年8月2日 2019年度第2四半期及び上半期の決算発表
- 2019年11月8日 2019年度第3四半期の決算発表

Contacts

CRÉDIT AGRICOLE PRESS CONTACTS

Charlotte de Chavagnac	+ 33 1 57 72 11 17	charlotte.dechavagnac@credit-agricole-sa.fr
Olivier Tassain	+ 33 1 43 23 25 41	olivier.tassain@credit-agricole-sa.fr
Caroline de Cassagne	+ 33 1 49 53 39 72	Caroline.decassagne@ca-fnca.fr

CREDIT AGRICOLE S.A. INVESTOR RELATIONS CONTACTS

Institutional investors	+ 33 1 43 23 04 31	investor.relations@credit-agricole-sa.fr
Individual shareholders	+ 33 800 000 777 (toll-free number France only)	credit-agricole-sa@relations-actionnaires.com

Cyril Meilland, CFA	+ 33 1 43 23 53 82	cyril.meilland@credit-agricole-sa.fr
---------------------	--------------------	--

Equity investors:

Letteria Barbaro-Bour	+ 33 1 43 23 48 33	letteria.barbaro-bour@credit-agricole-sa.fr
Oriane Cante	+ 33 1 43 23 03 07	oriane.cante@credit-agricole-sa.fr
Emilie Gasnier	+ 33 1 43 23 15 67	emilie.gasnier@credit-agricole-sa.fr
Ibrahima Konaté	+ 33 1 43 23 51 35	ibrahima.konate@credit-agricole-sa.fr
Vincent Liscia	+ 33 1 57 72 38 48	vincent.liscia@credit-agricole-sa.fr
Annabelle Wiriath	+ 33 1 43 23 55 52	annabelle.wiriath@credit-agricole-sa.fr

Credit investors and ratings agencies

Caroline Crépin	+ 33 1 43 23 83 65	caroline.crepin@credit-agricole-sa.fr
Laurence Gascon	+ 33 1 57 72 38 63	laurence.gascon@credit-agricole-sa.fr
Marie-Laure Malo	+ 33 1 43 23 10 21	marielaure.malo@credit-agricole-sa.fr

See all our press releases at: www.credit-agricole.com - www.creditagricole.info

 Crédit_Agricole  Crédit Agricole Group  créditagricole_sa